

福岡県医発第160号（総）

平成17年4月15日



各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 竹嶋 康弘



平成17年度社会貢献者表彰（日本財団賞贈呈）候補者推薦について

標記につきまして、社会貢献支援財団より推薦方依頼がまいりました。

つきましては、推薦要領をご確認のうえに、貴会で該当者がありましたら、
5月16日（月）までに社会貢献支援財団へ直接ご推薦下さいますようお願い
申し上げます。

社 貢 5 9 号
平成17年 3月10日
(公 印 省 略)

各 位

社会貢献支援財団
会 長 猪 熊 葉 子

平成17年度社会貢献者表彰（日本財団賞贈呈）
候補者推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、社会貢献支援財団では設立以来30年以上にわたり、社会貢献をなさった方々を、感謝を込めて表彰して参りました。緊急時の人命救助、長年にわたるさまざまなボランティア活動、海に関わる貢献など、平成16年度においても、皆様からご推薦頂いた222件の候補者の中から26件の素晴らしい方々を表彰させて頂きました。これらのご功績は、当財団のウェブサイト(<http://www.fesco.or.jp>)でご覧になれます。

平成17年度も同様に、社会貢献者の方々を表彰を通じて支援を行いたいと考えます。素晴らしい活動をなさっている方々を私どもにご推薦ください。

ご推薦にあたりましては、別添資料をご参照ください。個人または団体いずれのお立場からでも結構です。推薦書のご提出は、5月16日までお願いいたします。授賞の決定は9月、表彰式典は11月を予定しており、受賞者には副賞として日本財団賞を贈呈いたします。

なお、当文書を関係部所等に広くご回覧、ご掲示頂ければ幸いです。

格別のご高配をお願い申し上げます。

敬 具

添付資料：

1. 「社会貢献者表彰 推薦募集」リーフレット
2. 平成17年度表彰候補者推薦要領
3. 表彰候補者推薦書



平成17年度

社会貢献者表彰 推薦募集

大木のように強い人
木漏れ陽のように優しい人
命の恵沢を大切に育む森のような人……
そんな素晴らしい方の功績を
私たちに教えてください。

社会貢献者表彰は、
人びとや社会のために力をつくされた方を表彰し、
日本財団賞を贈るものです。

社会貢献者表彰は、広く社会の各分野において、社会と人々の安寧と幸福のためにつくされ、
顕著な功績を挙げながら報われる機会の少なかった方々を対象としています。表彰の功績は、三部門に分けられます。
なお社会貢献者として表彰された方には、副賞の日本財団賞が感謝を込めて贈られます。

「緊急時の功績」

副賞：日本財団賞・賞金100万円

- 海難・水難・交通事故・犯罪等に際し、
身命の危険を冒して救助・救援に尽くさ
れた功績

（原則として、平成16年4月1日以降の功績を対象とし、
該当行為により亡くなられた方の功績を含みます）。

「多年にわたる功労」

副賞：日本財団賞・賞金100万円

- 困難な状況の中で多年にわたり努力し、
社会の安寧や人々の幸福のために尽くさ
れた功績

「特定分野の功績」

副賞：日本財団賞

- 海の貢献賞（賞金100万円）
- 国際協力賞（賞金100万円）
- 21世紀若者賞（賞金20万円）
- ハッピーファミリー賞（賞金100万円）

後援：内閣府、総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省

お知らせください。
心が熱くなるその人のことを。



社会貢献支援財団
Foundation for Encouragement of Social Contribution
www.fesco.or.jp

社会貢献者表彰受賞者はみなさまの声をもとに選ばれます。

これまでに11,600人あまりの方々が社会貢献者として表彰されています。

社会貢献支援財団の実績

わたしたち社会貢献支援財団は昭和46(1971)年の設立以来、中心的な事業として社会貢献者の表彰を行ってまいりました。受賞された方は11,600人あまり。社会のために尽くされている方たちに、その功績に感謝して労をねぎらい、活動を支援することが目的です。

表彰選考委員のご紹介

表彰選考委員会は6人のメンバー(予定)から構成されています。多様な経歴を持つ著名なメンバーが、それぞれの知識と経験に基づき、全ての候補者について厳正な選考を行います。

曾野 綾子 (作家、日本財団 会長)
猪熊 葉子 (聖心女子大学 名誉教授、社会貢献支援財団 会長)
犬丸 一郎 ((社福)トット基金 理事)
金平 輝子 (元東京都副知事)
日下 公人 (東京財団 会長)
藤原 正彦 (お茶の水女子大学 教授)

候補者推薦募集について

ご推薦はどなたからでもいただけます。
あなたの身近の、素晴らしい活動をしていらっしゃる方をご推薦ください。
推薦に際して候補者の方の年齢・職業・性別・居住地域などの制限はありません。

●候補となった功績と同一または同種の功績により、すでに国の栄典(叙勲・褒賞)または大臣表彰を受賞されている方は、後順位となります。
詳細については、推薦要領をご参照ください。

下記ウェブサイトでも要領をご覧ください。

<http://www.fesco.or.jp>

推薦締切

平成17年5月16日(当日必着)

お問い合わせ・推薦要領ご請求先

社会貢献支援財団 事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル
電話: 03-3502-0910 FAX: 03-3502-7190
e-mail: fesco@mve.biglobe.ne.jp



社会貢献支援財団
Foundation for Encouragement of Social Contribution



平成17年度

表彰候補者推薦要領

1. 目的

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰させて頂き、そのご功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的としています。

2. 対象功績区分と内容

上記の目的に合った功績・功労を、次の区分によりご推薦願います。過去の当財団表彰事例に捉われることなく、下記の功績内容に該当するかどうかでご判断ください。

第一部門：「緊急時の功績」（副賞：日本財団賞）

- 海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- 犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

第二部門：「多年にわたる功労」（副賞：日本財団賞）

- 精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- 著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- 不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

第三部門：「特定分野の功績」

① 海の貢献賞

- 海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- 海に関わる産業分野において
 - ・長年の経験を持ち、技能が傑出している方の功績
 - ・その分野を大きく前進させる発明・考案・改良などをなさった方の功績
- 海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

② 国際協力賞

- 日本（人）が関係する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績

③ ハッピーファミリー賞

○多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方々や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績

④ 21世紀若者賞

○自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

3. 推薦者の資格

- (1) 推薦者には、年齢・職業・性別・信条・国籍などの制限はありません。
- (2) 推薦者は、個人・団体を問いません。なお、団体として推薦される場合は、担当者の方のお名前とご所属をお知らせください。
- (3) 推薦内容に虚偽が認められた場合、その推薦およびそれに基づく受賞は無効となります。また推薦者がどのような形であれ推薦の見返りを候補者に求めた事実が判明した場合、その推薦は無効となります。

4. 候補者の資格

- (1) 候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍（国際協力賞を除く）などの制限はありません。
- (2) 候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とします。
- (3) 候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とします。
- (4) 第一部門「緊急時の功績」については、原則として、平成16年4月1日以降の功績を対象とし、この功績の場合のみ、当該行為により亡くなられた方を含みます。

5. 選考について

候補者の功績について、表彰選考委員会のメンバーが、それぞれの知識と経験に基づき、全ての候補者について厳正な選考を行います。平成17年度の選考委員会のメンバー（予定）は以下のとおりです。

曾野 綾子（その あやこ）

作家、日本財団 会長

猪熊 葉子（いのくま ようこ）

聖心女子大学名誉教授、社会貢献支援財団 会長

犬丸 一郎（いぬまる いちろう）

（社福）トット基金理事

金平 輝子（かねひら てるこ）

元 東京都 副知事

日下 公人（くさか きみんど）

東京財団 会長

藤原 正彦（ふじわら まさひこ）

お茶の水女子大学 教授

選考の過程は公表されません。

6. 推薦方法

別添の表彰候補者推薦書に記入の上、当財団にお送りください。郵送・FAXを問いません。また、当財団WEBサイト (<http://www.fesco.or.jp/>) のフォームからも送信いただけます。

推薦者は追加資料を添付することができます。候補者の活動状況を伝える機関誌、会報、新聞記事等のコピー、写真等がおありでしたら、推薦書と併せて郵送でお送りください。選考材料として使用いたします。

なお、原則として、推薦書・資料は返却いたしません。

7. 〆切

平成17年5月16日（当日必着）

8. 受賞者の決定等

- (1) 表彰選考委員会の審査・選考を経て、決定いたします。受賞者が決定され次第、推薦者宛に、受賞の有無をお知らせいたします。
- (2) 表彰式典は、平成17年秋に、東京都内で挙げる予定です。
- (3) 受賞者には、表彰状、記念品及び下記に掲げる副賞を贈呈する予定です。
副賞「日本財団賞」：賞金100万円（但し「21世紀若者賞」は賞金20万円）
- (4) 受賞者の方には、表彰式典にご出席いただきます。受賞者には、当財団で定める出席旅費を式典当日にお渡しいたします。

9. 賞の発表・広報活動

社会貢献支援財団では、受賞者の名前、住所、推薦書等応募資料やその後の調査による資料の記載事項、写真等を広報活動に使用する権利を有し、これに対する対価は支払われません。

受賞者の名前は決定後、すみやかにプレスリリース、当財団WEBサイトなどで発表されます。また、受賞者の活動は記録集にまとめられ、都道府県立図書館等に寄贈されます。

社会貢献支援財団は、公表、出版の場合におけるいかなる不正確さ、誤りに関しても責任を問われません。

10. 責 任

社会貢献支援財団は、推薦書等応募資料の紛失・破損に関しての責任は負いません。また、郵便等の連絡の遅延等に関しても、責任を負いかねます。

平成17年3月1日現在

表彰候補者推薦書・1

☆事務局使用欄

NO.	NO.
NO.	NO.

※の項目は必ずご記入ください。

記入日 年 月 日

推薦者	フリガナ							
	※氏名 又は団体名							
	勤務先または職業(個人の場合)	(※団体の場合の フリガナ ご担当者名)						
	フリガナ							
	※自宅住所 又は 団体の所在地	〒 -						
	※連絡先電話番号 1	-	-	(☐ 自宅 ☐ 勤務先 ☐ 携帯電話)	連絡可能	:	~	:
	連絡先電話番号 2	-	-	(☐ 自宅 ☐ 勤務先 ☐ 携帯電話)	時間	:	~	:
e-mail:				FAX	- -			
※推薦者から見た候補者との関係								
選考結果の送付先 (上記と異なる場合)	〒 -							
◎私は下記の方(団体)を推薦いたします。								
※ 推薦する部門 : ☐ 第一部門 ☐ 第二部門 ☐ 第三部門 (※下記にチェック欄有り) (※ 第三部門の ☐ 海の貢献賞 ☐ 国際協力賞 ☐ ハッピーファミリー賞 ☐ 21世紀若者賞)								
候補者	フリガナ							性別(個人の場合)
	※氏名 又は団体名							男・女
	個人の場合	生年月日	M・T・S	年	月	日	年 齢	歳
	フリガナ				フリガナ			
	団体の場合 代表者名				団体の場合の ご担当者名			
	フリガナ							
	※自宅住所 又は 団体の所在地	〒 -						
	※連絡先電話番号 1	-	-	(☐ 自宅 ☐ 勤務先 ☐ 携帯電話)	連絡可能	:	~	:
	連絡先電話番号 2	-	-	(☐ 自宅 ☐ 勤務先 ☐ 携帯電話)	時間	:	~	:
e-mail:				FAX	- -			
※【別添資料】(有・無) (添付される資料名をこちらにご記入ください。例:活動写真・2枚等)				※【表彰歴】				

◎詳しくは推薦書2の功績書にお書きください。

表彰候補者推薦書・2

功 績 書

☆事務局使用欄

NO.	NO.
NO.	NO.

◎候補者の功績をお書きください。

記入日 年 月 日

※候補者名：

※【功績内容】 こちらには、候補者がどのような活動をされているのかをお書き下さい。
(●いつ頃からどのようなこと(何)をされていますか？●活動のきっかけは？●結果、成果は？などを含めてお書き下さい。)

ありがとうございました。

書ききれない場合は、別紙にお書き添えください。(用紙はコピーでも可)